

株式会社ガスター



外観

株式会社「ガスター」は、神奈川県のはば中央に位置する大和市に本社を構えるガス機器メーカー。緑とも調和した一体感のある建物は、事務棟と工場棟から構成されている。



工場棟西側2F トイレ入口

男性トイレは手前、女性トイレは奥に配置している。トイレの前には、身だしなみを整えるほか、安全ルール順守のために男女共用の全身鏡を設置。さらに、鏡の前に工場従業員のためのロッカーを整備している。



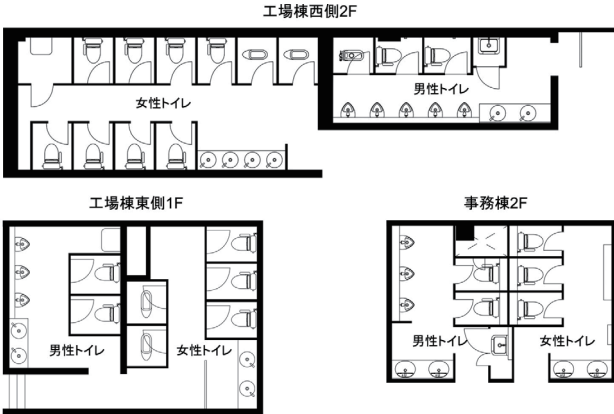
工場棟西側2F 男性トイレ

小便器は、床の清掃性に優れた壁掛式を採用。床にはにおいや汚れの発生を抑えるハイドロセラ・フロアPUを設置することで清掃性にも配慮。洗面には手袋などの作業備品をおける棚と、混雑緩和のため大型鏡を採用。



工場棟・事務棟 トイレ図面

工場棟トイレは、動線を意識した配置。西側2Fトイレは、従業員の要望に沿って和式便器を減らし、洋式便器に変更。事務棟2F女性トイレは、洗面とは別に身づくろいのスペースを設け、機能分散が図られている。



工場棟西側2F 女性トイレ 洗面コーナー

洗面には、衛生面に配慮して非接触の自動水栓を採用。電気温水器を設置し、冬場に加え、手に付着した油などの汚れをしっかり洗い流せるような環境が整備されている。



工場棟西側2F 女性トイレ 大便器ブース

連続使用が可能なパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式に、便器洗浄ボタンはボタンを押すと自己発電するエコリモコンを採用。さらに、ウォシュレットも設置している。



工場棟東側1F 男性トイレ

トイレの入口は、衛生性に配慮してドアレス。プライバシー配慮として、入口に目隠しとなるパーティションを設置している。



水まわりの特長

改修の経緯

「株式会社ガスター」は、1959(昭和34)年の創業以来、首都圏におけるオンリーワン・ガス機器メーカーとして、「お湯のある快適な暮らし」を提供。1965(昭和40)年に「バランス型風呂釜」を開発し、日本における公衆浴場での入浴文化(外風呂文化)から、家庭でお風呂に入れる文化(内風呂文化)を発信し「おふろ新時代」を築いてきた。2018(平成30)年より、事業所におけるトイレ改修を推進。大和本社の工場棟と事務棟のトイレについては、前回の改修から約20年を経ることから老朽化対策を実施。さらに「工場で働く人が満足できるトイレにしたい」という考えのもと勤務する従業員のアンケート調査をもとに改修を実施。現在、働きやすい職場を実現するため、全社で定期的に改修に取り組んでいる。

水まわりの特長

トイレを改修するにあたっては、老朽化対策のほかメンテナンス性や短工期を意識して実施。さらに、従業員のアンケート調査結果をもとに、設備・配置・サインなどの要素を踏まえて計画を練った。器具の選定に際しては、大便器は節水性に優れ、連続洗浄が可能なパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式に、ウォシュレットPを採用。さらに、洗浄ボタンを押すたびに発電し、乾電池交換や電源工事が不要なエコリモコンを設置している。多目的トイレは車いす使用者、オストメイトなどさまざまな身体状況の方など、だれもが使いやすい快適な空間を実現。改修後のトイレは、従業員が快適に使えるよう細やかな配慮がされた空間に生まれ変わった。

建築概要

名称	株式会社ガスター
所在地	神奈川県大和市深見台3-4
施主	株式会社ガスター
設計	有限会社いづみ建築
施工	有限会社いづみ建築
竣工年月	(改修)2020年5月、8月、2021年8月

おもなTOTO使用機器

パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式:CFS49°系／ウォシュレットP:TCF58°系
ウォシュレットアップリコットP(温風乾燥付きエコリモコン):TCF5840AUP系
壁掛小便器:UFH500／ハイドロセラ・フロアPU:AB680BR
マーブライトカウンター(ボウル一体タイプ):MC55、MC50
台付自動水栓:TENA50A／電気温水器:REW12A1BHSCM
コンパクト多機能トイレパック:UADA系



事務棟2F 女性トイレ

洗面には、衛生面に配慮して非接触の自動水栓を採用。また今後、自動水石けん供給栓を採用予定。洗面とは別に、使い勝手と混雑緩和のため壁面に鏡と棚、小物入れを設置している。



事務棟1F 多目的トイレ入口

多目的トイレは、事務棟1Fの食堂入口に設置。サインには、多目的トイレのほか「ALL GENDER」の表記もあり、さまざまな方が気兼ねなく利用できる配慮がなされている。



事務棟1F 多目的トイレ

さまざまな利用者に配慮し、汚物流しを備えたコンパクト多機能トイレパックを設置している。